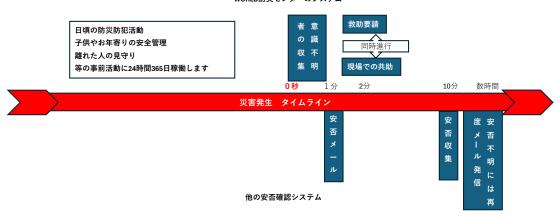
☆ 災害時のタイムライン(『わたしはココ』 vs 他社サービス)

☑ 発災直後 (0分 ~ 30分)

行動	『わたしはココ』	他社アプリ・サービス(LINE / Yahoo! / SECOMなど)
状況確認	・ 水没検知機能 で自動SOS発信(津波・洪水時)	・LINEで友人・家族にメッセージ送信
	・スマホが使える場合、ワンタップでSOS発信	・Yahoo!防災速報で最新情報を確認
安否確認	・オーディエンスSOSで家族	・LINE、SECOMの安否確認サービスを利用(ただし通信環境が必要)
	・コミュニティ	
	・第三者へ一斉安否通知	
	・ネットワーク圏外でもBluetoothでSOSを送信	
避難判断	・3D位置検索で高さ・階数を考慮した安全な避難ルートを特定 ・家族・近隣住民の位置を把握しながら移動	・Yahoo!防災速報で避難指示を確認
		·SECOM
		・ALSOKの企業向け通知を受信

WORLD防災センターのシステム



☑ 30分 ~ 3時間(避難行動・救助要請)

E con custo (Carlina avenaria)		
行動	『わたしはココ』	他社アプリ・サービス(LINE / Yahoo! / SECOMなど)
避難行動	・ Bluetoothメッシュ通信 で近くのユーザーと連携	・LINEで家族と連絡を取る
	・周囲の状況を共有しながら安全なルートへ誘導	・避難所情報をYahoo!防災速報で確認
救助要請	・電波がない状態でも、近くの『わたしはココ』ユーザーとSOS情報共有	・SECOMやALSOKの法人向けサービスを利用する場合、登録者に限定
	・第三者が近くにいる場合、救助支援の要請	・LINEの位置情報共有は利用者間でのみ可能
家族・地域の安否確認	・自動メール送信機能で遠方の家族へ状況を報告	・LINEやSafety tipsでは個別のメッセージ連絡が必要
	・『わたしはココ』ユーザー同士で助け合う	・法人向けサービスは企業内連絡のみ

▲ 3時間 ~ 24時間(避難生活・情報共有)

行動	『わたしはココ』	他社アプリ・サービス(LINE / Yahoo! / SECOMなど)
避難所での生活	・オーディエンスSOSで避難者同士の情報共有が可能	・Yahoo!防災速報で避難所情報を取得
	・多言語対応で外国人住民とも意思疎通が容易	・LINEグループチャットで家族と連絡
災害情報の受信	・近隣のユーザーとのBluetooth通信で情報共有	・Yahoo!防災速報、Safety tipsなどで最新の災害情報を取得
	・自治体が『わたしはココ』を導入している場合、重要情報が届く	
電源・通信対策	・圏外環境でも利用可能なため、バッテリー節約が可能	・LINEなどの通信アプリは電波が必要なため、長時間の通信は困難

🕲 24時間 ~ 数日後(復旧・帰宅)

行動	『わたしはココ』	他社アプリ・サービス(LINE / Yahoo! / SECOMなど)
復旧情報の確認	・地域住民同士で復旧情報を共有	・Yahoo!防災速報、Safety tipsなどで最新情報を取得
	・自治体と連携すれば、必要な支援情報も提供可能	
帰宅の安全確認	・3D位置検索機能で帰宅ルートの危険エリアを回避	・Yahoo!防災速報で交通情報を取得
	・避難経路をBluetoothメッシュで共有	・LINEで家族と状況を確認

♥ 総合評価(なぜ『わたしはココ』が有利か?)

評価ポイント	『わたしはココ』	LINE / Yahoo! / SECOM / ALSOK
電波不要での安否確認	✓ (Bluetooth通信)	★ (携帯回線必須)
災害時の即応性	☑ (SOS発信・位置共有・水没検知)	△☑(手動での情報確認が必要)
家族・コミュニティ連携	☑(オーディエンスSOS機能)	△ 図(法人向けサービスは限定的)
救助要請の容易さ	☑ (近隣の第三者へもSOS発信可能)	★(主に家族・企業内向け)
多言語対応	☑ (8言語対応)	Æ⊠(Safety tipsのみ15言語)

☑ まとめ

1. 発災直後から復旧までの全フェーズで利用可能

圏外対応、SOS発信、家族・地域の安否確認、自動メール送信、3D位置情報など、多機能性が他のアプリを圧倒。

2. 共助(地域・第三者との助け合い)を強化できる唯一のアプリ

他の安否確認サービスは、基本的に家族や企業内の連絡に限定される。

『わたしはココ』は、災害時に見知らぬ人同士でも助け合える仕組みを提供。

3. 完全無料で利用可能な点が大きな強み

SECOMやALSOKの法人向けサービスと比べ、現在無料で利用できる点は非常に大きなメリット。